

## 令和3年度 新型コロナウイルス感染症 暮らし・経済対策

新型コロナウイルス感染症の拡大が続き、市民生活や経済活動が大きな影響を受けていることを踏まえ、令和2年度に引き続き、感染症対策を徹底し、市民の安全・安心をお守りするとともに、経済の再生や新たな日常への取組に一層力を入れて取り組んでいきます。

### 令和2年度 暮らし・ 経済対策

- ・検査体制の強化
- ・医療機関への支援
- ・特別定額給付金の給付
- ・子育て世帯への臨時特別給付金
- ・事業者への無利子(3年間)・無担保・据置期間5年の融資
- ・商店街支援 等

### 地方創生臨時交付金の活用について

国の令和2年度第3次補正予算に計上されている地方創生臨時交付金のうち、地方単独事業負担分の本市交付限度額を100億円と見込み、「暮らし・経済対策」に活用していきます。

令和2年度2月補正(43億円)  
令和3年度当初予算(57億円)

## 令和3年度 暮らし・経済対策予算

総額 2,405 億円 <他、2年度2月補正 238 億円>

### I 市民と医療を守る 360 億円

<主な事業>

- 医療提供体制、救急医療体制の確保 (317 億 500 万円)
  - ・新型コロナウイルスワクチン接種の実施
  - ・<ワクチン接種体制の確保(2年度2月補正 16 億 300 万円)>
  - ・新型コロナウイルス感染症コールセンターの運営
  - ・検査費自己負担分の助成、簡易検体採取所の設置・運営
  - ・疫学調査チーム「Y-AEIT」、感染症・医療調整本部「Y-CERT」の運営
  - ・入院患者受け入れ医療機関への支援金の支給
  - ・患者受入体制の確保に必要な施設整備費の助成
  - ・認知症高齢者等入院受け入れ支援金の支給
  - ・保護者等が感染により養育者不在となった児童の一時保護
  - ・救急活動で使用する感染防止対策用資器材の調達
- 福祉施設等の感染防止、継続運営に向けた支援 (36 億 1,500 万円)
  - ・福祉施設の感染症対策や陽性者発生時の対応にかかる経費の助成
  - ・<学校施設における感染症対策(2年度2月補正 8億1,400万円)>
- 災害時の感染症対策 (1,200 万円)
  - ・避難所等で診療を行う医療救護隊の資器材配備
- 東京 2020 オリンピック・パラリンピックにおける感染症対策 (7 億 300 万円)
  - ・都市ボランティアの運営や事前キャンプ・ホストタウンにかかる感染症対策の実施

### 【暮らし・経済対策に係る令和3年度の執行体制強化について】

#### I 市民と医療を守る

新型コロナワクチン対応、保健所、Y-CERTに係る体制強化等: 55 増  
(他、非常勤職員・人材派遣 202 人の活用)

#### II 横浜経済と市民生活を守る

生活困窮者支援対応に向けた体制強化等: 32 増

#### III 新たな日常に取り組む

デジタル化の加速を通じた行政サービス等の向上及び効果的な行政運営を図るための体制強化等: 11 増、デジタル統括本部の設置

## II 横浜経済と市民生活を守る 2,013 億円

<主な事業>

- 市民生活への支援 (27 億 100 万円)
  - ・住居確保給付金の支給、住宅セーフティネット事業(家賃減額補助上限額の引き上げを継続)
  - ・妊婦の分娩前PCR検査費の補助、オンライン母子保健指導及び育児等支援サービスの提供
  - ・ひとり親世帯に対するフードバンクを活用した食品提供
- 雇用機会の創出・就職支援 (7 億 8,000 万円)
  - ・職を失った方などを対象とした緊急雇用の創出、長期的雇用に向けた WEB 合同就職面接会の開催
  - ・就職氷河期世代に対し、就職相談や能力伸長のための講座の実施による就職支援
- 中小企業・小規模事業者等への支援 (1,972 億 5,600 万円)
  - ・コロナ禍での事業継続や新たな事業展開に向けた設備投資・販路開拓の経費を補助
  - ・<コロナ禍の影響を受けている小規模事業者への訪問相談等により、効果的な支援策へ誘導(2年度2月補正 1億1,200万円)>
  - ・SDGs biz サポート事業の継続(脱炭素化に向けた積極的な取組を促進)
  - ・資金繰り支援として、リーマンショック時(平成 20 年度)の実績を上回る 2,300 億円の融資枠を確保
- 商店街支援 (1 億 4,900 万円)
  - ・商店街が消費喚起策として行うプレミアム付商品券の発行を支援
  - ・商店街会員によるプロジェクトを立ち上げ、ウィズコロナ社会における商店街活性化策を検討
- 文化芸術支援 (1 億 900 万円)
  - ・市内の文化施設で行う文化芸術事業に対し、感染症対策経費や会場費などについて支援金を給付
  - ・文化芸術関係者の多様な相談に専門資格者が対応する特別相談窓口「YES!」を運営
- 観光・MICE支援 (2 億 5,000 万円)
  - ・会場とオンラインを併用したハイブリッド形式等の新たな開催形態に対応したMICE開催を支援
  - ・市内観光事業者を支援するための着地型旅行商品の販売や市内宿泊促進プロモーションの実施
- 国の第3次補正予算等を活用した公共事業の実施
  - ・<公園や道路、河川、港湾施設等の整備(2年度2月補正 148 億 8,100 万円)>

## III 新たな日常に取り組む 32 億円

<主な事業>

- GIGAスクール構想の推進 (26 億 8,500 万円)
  - ・「1人1台端末」を円滑に推進するためのICT支援員の派遣、クラウドサービスの活用に向けた教員向けの研修実施、ネットワーク環境等の保守・運用
- スマート農業実証事業 (1,700 万円)
  - ・遠隔地から農産物の生育管理等が可能となるスマート農業の実証
- 行政サービスのデジタル化の推進(3 億 4,900 万円)
  - ・電子決済等に対応した次期電子申請・届出システムの導入
  - ・国民健康保険料の納付におけるキャッシュレス決済の導入に向けたシステムの改修
  - ・建築計画概要書等の閲覧の WEB 化

※表中の金額は特別会計・企業会計含む金額です。  
※掲載内容は、「令和3年度予算案について」4~5ページから抜粋しています。